

伝統の漁に歓声

延岡

北川漁協 鮎のちよん掛け大会

「鮎(あゆ)のちよん」を楽しんだ。北川漁業協
がけ大会」が7日、延岡 同組合(長瀬二組(長
市北川町下塚の矢ヶ内川 主権。

(松葉小学校跡地下)で
あり、参加者は地元で受
け継がれている伝統の漁
た、かき状の針をアユに

ちよん掛けは、長さ2
ほほどのさおの先に刺し
た、かき状の針をアユに



にぎわった北川漁協の「鮎のちよん掛け大会」

引っ掛けて捕らえる伝統
漁法。針はゴムひもでさ
おに固定されていて、針
にかかったアユはその伸
縮性で引っ張られる仕組
みになっている。

大会には、近隣の人た
ちを中心に福岡や大分、
熊本など遠方からも含め
約300人が参加。合図
とともに一斉に川へ入っ
て、獲物を追った。

3千匹以上に相当する
300匹のアユを放流。
網で仕切られた子供向け
の区画、初心者向けの上
流、ベテラン向けの下流
など、参加者は技術ごと
に分散した。

中には、手作りのさお
を持参、全身ウエットス
ーツに、水中めがね、シュ
ノーケルという装備の本
格派もいて、次々と大物
を捕獲。慣れない参加者
もアユの群れにさおをさ
して、獲物がかかるたび
に歓声を上げた。

市内から少年バスケッ
トボールチームの仲間8
人で参加していた芥川裕
幸君(岡富小6)は「ちよ
ん掛けは初めてだけど、
きょうは10匹以上捕りた
い」と、川水の冷たさに
負けず漁を楽しんでい
た。